

## POS Printer OPOS ドライバー(ユーザーマニュアル)

### 1. はじめに

POS プリンターOPOS ドライバーは OPOS 標準バージョン 1.14.1 に対応しています。

1) サポート POS プリンター POS80 シリーズ プロダクト

2) 下記の通信ポートをサポートします。

USB

シリアル

イーサネット

このソフトウェアパッケージは、POS プリンターのドライバーサポートを提供します。

OPOS は、主に以下のファイルで構成されています。

OPOS Registrar related files and OPOS driver files:

RegComSvr.exe

Register.bat

Include¥\*

Common¥\*

-----  
OPOS Configuration Tool and Testing Tool:

OPOS\_PrinterConfigTool.exe

OPOS\_PrinterTest.exe

Image¥\*

### 追記

画像カタログの下にあるピクトレスは、テストツール用のものです。

写真を変更する必要がある場合は、写真の名前を<Image>に変更し、サフィックスを変更しないようにすると、画像フォーマットは以下になります。

.png

.bmp

.jpg

.pcx

.gif

.ico

.tif

.tga

.raw

.psd

## 2. 動作環境

### 2.1 オペレーティングシステム

本ソフトウェアは、以下の x86 構造のオペレーティングシステムをサポートしています。

- ・ Windows 10 64 Bit
- ・ Windows 10 32 Bit
- ・ Windows 8.1 64 Bit
- ・ Windows 8.1 32 Bit
- ・ Windows 8 64 Bit
- ・ Windows 8 32 Bit
- ・ Windows 7 64 Bit
- ・ Windows 7 32 Bit
- ・ Windows XP 32 Bit

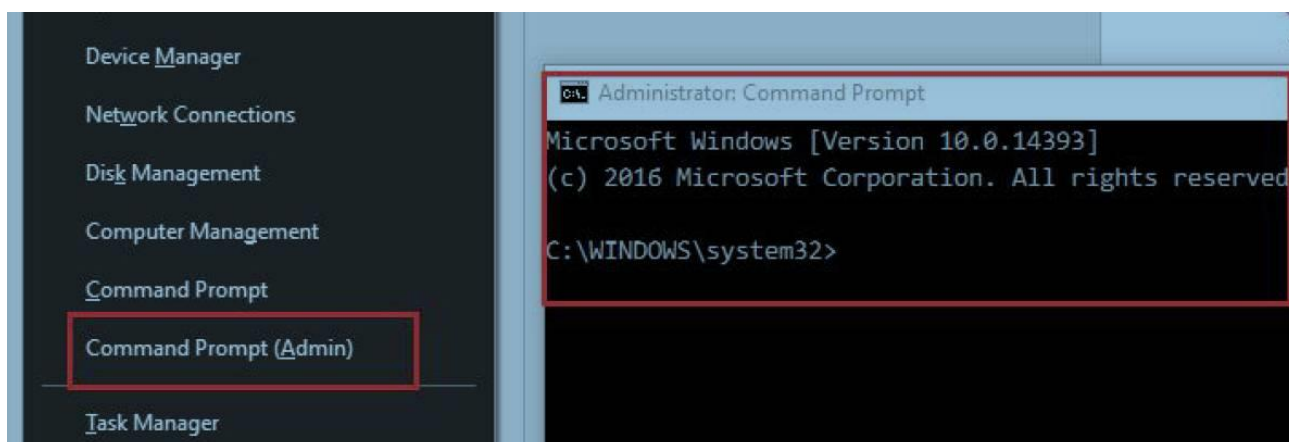
### 2.2 ドライバーと設定ツールの動作環境

Win7 以降で OPOS ドライバーのドライバファイルを登録する際に  
Windows OS の場合は、管理者権限が必要です。

## 3. OPOS ドライバーの登録

POS プリンターOPOS ドライバーを実行するには、すべての\* .dll ファイルと  
Common の\* .ocx が必要です。

- 1) 管理者権限でコマンド「cmd」を実行します



2) その後、ソフトウェアパッケージのディレクトリに移動し、Register.bat を実行します。コマンドを実行すると、コマンドが正常に実行され、OPOS ドライバーとサービスは以下のように登録されます。

```
Administrative Command Prompt
Directory of X:\OPOSPrinterS0_Beta02
10/24/2016 21:13 <DIR> .
10/24/2016 21:13 <DIR> ..
10/22/2016 16:00 <DIR> Common
10/24/2016 20:54 <DIR> Image
10/22/2016 15:18 <DIR> Include
10/24/2016 20:53 3,345,408 OP05_PrinterConfigTool.exe
10/24/2016 20:53 3,890,800 OP05_PrintingTest.exe
03/05/2008 03:00 86,016 RegConSvr.exe
10/24/2016 21:00 478 Register.bat
4 File(s) 7,390,782 bytes
5 Dir(s) 1,126,846,464 bytes free

X:\OP05PrinterS0_Beta02>Register.bat
**
** Register or Unregister OP05 Common Control Objects.
** Run from a command prompt with administrator privileges,
** in the directory in which this batch file is located.
** Formats:
** Register Register control objects.
** Register -u Unregister control objects.
**
--) Press Control-Break to exit, or
Press any key to continue . . .

X:\OP05PrinterS0_Beta02>RegConSvr.exe Common\OP05*.ocx Common\OP05*.dll

** RegConSvr 1.3 [3/2008 crn] **

File: Common\OP05_Constants.dll
** Success: File registered.

File: Common\OP05_Printer_S0.dll
* Removing previous entries from HKLM.
* Registering to HKLM.
** Success: File registered.

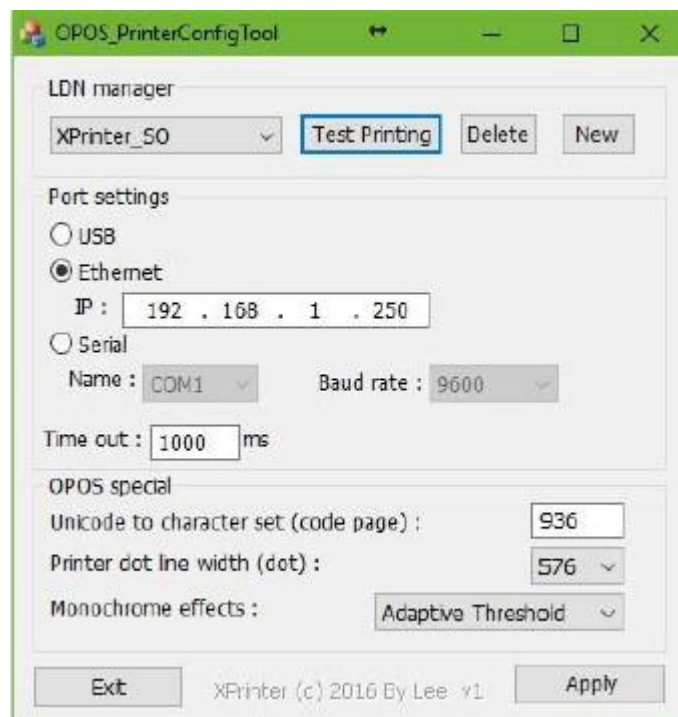
File: Common\OP05POSPrinter.ocx
* Removing previous entries from HKLM.
* Registering to HKLM.
** Success: File registered.

X:\OP05PrinterS0_Beta02>reg ** End

X:\OP05PrinterS0_Beta02>
```

#### 4. OPOS 構成

OPO S\_PrinterConfigTool.exe を管理者権限で実行してください。



##### 4.1 LDN マネージャ：ロジックデバイス名管理

- 1) ドロップダウンリスト。既存の OPOS で設定した LDN を選択します。
- 2) 印刷テスト：選択した LDN をテストします。テストプログラムを呼び出します。
- 3) 削除：選択した LDN を削除します。
- 4) New：新しい LDN を作成します。

##### 4.2 ポート設定：通信ポートの設定。

USB：

USB オプションを選択すると、プリンターが自動的に識別されます。

イーサネット：

**IP:** プリンターと通信可能な IP アドレスを入力してください。

**serial:** 名前を指定します。シリアルポート名を選択します。

ボーレート。シリアルポートのボーレートを選択します (9600、19200、38400、11520)

### 4.3 OPOS 特集 : OPOS ドライバーの機能構成

#### 1) Unicode から文字セットへ

OPOS ドライバーが UNICODE エンコーディング機構を使用している場合は  
UCICODE→対象言語コードに対応する変換コードページを作成します。  
(プリンターがサポートしているものによります)

936 gb2312

Simplified Chinese

(GB2312) \*

437 IBM437 OEM USA

#### 2) プリンターのドットの線幅 (ドット)。1 行あたりのドット数

576 と 640 をサポート (特定のプリンターで行進)

#### 3) モノクロ効果の変換アルゴリズム/モノクロ画像

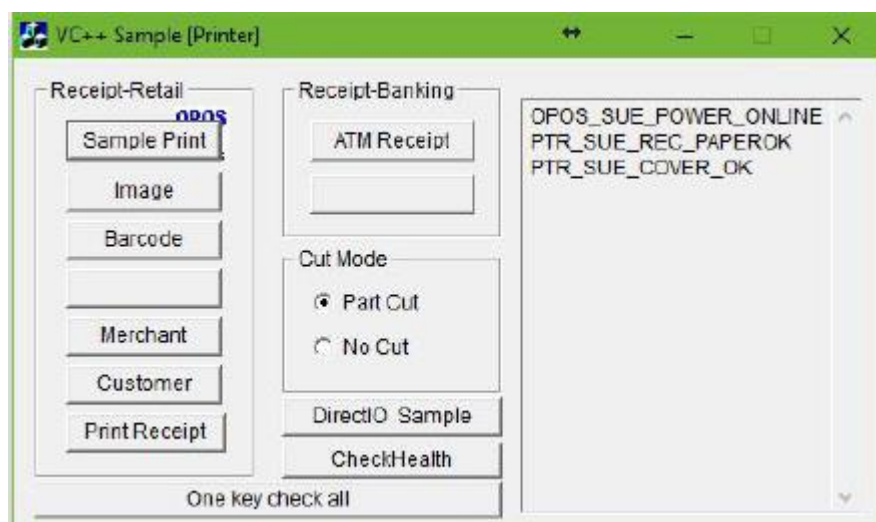
最大 10 種類の変換アルゴリズムをサポート

### 4.4 適用

すべての設定を適用して有効にします。

### 5. OPOS プリンター印刷テスト

OPOS の設定が終わったら、<Test Printing>をクリック



1) プリンターが正常に接続されていることを確認後、  
関連した機能を試すために、ボタンをクリックしてください。

2) ボックスにプリンターのリアルタイムのステータスが表示されます

## 6. その他

本ソフトウェアは、主に UnifiedPOS 規格に基づいて開発されています。

OP0S のプログラミングについては、UnifiedPOS 社が発行しているリファレンスマニュアルを参照してください。詳細は <http://www.monroecs.com/posstandards.htm> をご覧ください。

### 付録 A

PrintBarCode メソッドを使用する場合、下記バーコードをサポートします。

types:

PTR\_BCS\_UPCA

PTR\_BCS\_UPCE

PTR\_BCS\_JAN8。

PTR\_BCS\_JAN13。

PTR\_BCS\_ITF。

PTR\_BCS\_Codabar。

PTR\_BCS\_Code39。

PTR\_BCS\_Code93。

PTR\_BCS\_Code128。

PTR\_BCS\_QRCODE, —\*1

PTR\_BCS\_PDF417 —\*2

### \*注意

この 2 種類を\*1,\*2 で使用した場合、サイズ設定パラメータは動作しませんので、通常の印刷サイズの制限内で設定する必要があります。

1. 「text」を送信する場合は、デフォルトのパラメータを使用して QRCODE を作成します。  
単位点サイズや誤差補正レベルを変更したい場合は下記フォーマットに対応しています。

HEX : 1b N1 N2 “text” N1: Unit

point size N2: Error

correction level

プリンターのプログラミングマニュアルの QRCODE の詳細説明を参照してください。

2. 「テキスト」を送信する場合は、デフォルトのパラメータを使用して PDF417 を生成します。  
もしパラメータの変更が必要な場合は、下記の形式でお願いします。

HEX: 1b N1 N2 N3 N4 N5 N6 N7 “text” N1.

列番号 N2: 行番号 N3: 幅

N4: ラインの高さ

N5: エラー訂正レベル記述タイプ

N6: エラー訂正レベル値

N7: 切り捨てモードの設定/解除

プリンターのプログラミングマニュアルの PDF417 の詳細説明を参照してください。